

第87回実践勉強会実施レポート

9月26日 大田文化の森 5階 多目的室
総合司会 中畔勇一

「薬局における検体測定室の意義について ー薬局で食後血糖値を測定する意義ー」

演者：アークレイマーケティング株式会社 マーケティング統括部 学術推進チーム 西村友里
横井 聖

参加者64名

質疑応答

質問①：検体測定室において、受検者に対して測定料金を設定することは可能か？

回答①：測定料金の設定は検体測定室ごとに自由に設定が可能である。1回の測定料金は、血糖は500円、HbA1cは1000円程度で設定されている検体測定室が多い。

質問②：検体測定室の届出をするにあたり、必要な構造設備の条件はあるか？

回答②：ガイドライン上は「血液を扱うことから、穿刺時の飛沫感染等の感染の防止を図る必要があり、個室等により他の場所と明確に区別するとともに、十分な広さを確保することとする」とあり、パーテーション等で仕切りをする必要がある。

また、血液を手指から採取するために、手洗い用の水回りの整備が必要である。

質問③：アークレイのHbA1c分析装置（スポットケムバナリスト SI-3620）、唾液検査装置（スポットケム ST ST-4911）の機器販売価格を教えてください。

回答③：スポットケムバナリスト SI-3620の希望納入価格は85万円、スポットケム ST ST-4911はオープン価格であるが、おおよそ20万円前後である。

質問④：アークレイから機器を購入して使い始め、精度管理をする中で、機器の不具合が疑われたときに修理等の対応は可能か？

回答④：アークレイでは修理・メンテナンスを専門とするサービス部門があり、基本的に対応可能である。

質問⑤：アークレイから機器・試薬を購入する場合の購入方法は？

回答⑤：直接販売は行なっていないため、医療機器・医薬品卸を経由しての販売となる。

質問⑥：購入でなくリースも可能か？

回答⑥：リース会社を介してのリースが可能である。